

平成 22 年度 予防ケア入門研修会 募集要項

本研修は、財団研修の中で最初に受講してもらいたい入門編と位置づけており、「検査相談研修（基礎編）（応用編）」や「ケア応用編」「NGO 指導者研修」「通訳研修」の前になるべく受講することを推奨します

1. 研修の目的：

エイズ予防啓発教育や HIV 感染者・家族の医療や地域支援に今後関わる予定の担当者、あるいは関わり始めた担当者を対象に、HIV についてこれまでの経緯から現在の課題、今後の方向性と一連の流れを検討することで日本におけるエイズ問題への理解を深める機会を提供することを目的としています。HIV の知識をまず習得したいという方には適しています。

また、従来、HIV の課題が「予防」と「ケア」に分断されて取り上げられているため、各領域の関係者が一同に集って HIV の取り組みについて検討する場は限られています。今回、予防とケアの両方の課題と取り組みを一つの場で扱うことで、双方の関係者が互いの考えや状況を具体的に知り、今後の活動の計画や実施に反映できる機会になるようなプログラムを作成しました。自分とは違った視点を持つ人たちとの交流は今後 HIV に関する際の活動の幅が広がることに繋がります。奮ってご参加ください。

2. 日 程：平成 22 年 7 月 1 日（木）・2 日（金）

3. 研 修 場 所：飯田橋レインボービル（東京都新宿区市谷船河原町 11 番地）

4. プログラムの内容（内容等は変更することがあります。）

【1日目】

9：00～ 9：30	受付
9：30～ 9：50	開会 挨拶 オリエンテーション
9：50～11：00	講義「HIV 医療の取り組みを振り返って」
11：10～12：30	シンポジウム 1「HIV 陽性者のこれまで・今・そして今後」
12：30～14：00	昼休み
14：00～16：00	シンポジウム 2 「エイズにおける予防ケアのこれまでと今後：エイズ全体の取り組みの振り返り、検査相談、社会保障について」
16：20～17：00	地域別の小グループでの意見交換
18：00～19：00	情報交換会

【2日目】

9：00～11：30	分科会<前半> A-① ; B-① ; C-① 選択制
11：30～13：00	昼休み
13：00～15：30	分科会<後半> A-② ; B-② ; C-② 選択制
15：30～16：00	休憩
16：00～16：40	小グループでの振り返り；講師からのフィードバック
16：40～17：00	修了式 挨拶

5. プログラム各項目の目的

- ◆ 講義：「HIV 医療の取り組みを振り返って」
長年 HIV 医療に従事してきた医師より、HIV 医療や HIV 陽性者を取り巻く状況について、当初の時点から今日に至るまでの変遷を説明してもらい、HIV 医療の今を長期的な視点で捉えていきます。
- ◆ シンポジウム 1：「HIV 陽性者のこれまで・今・そして今後」
数名の HIV 陽性者に、陽性判明後に何を考え、どのような課題にぶつかり、それを解決してきたかなどを率直に語ってもらい、受講生一人ひとりに、陽性者の抱える課題について考えを深めてもらう機会にしたいと思います。
- ◆ シンポジウム 2：「エイズにおける予防ケアのこれまでと今後：エイズ全体の取り組みの振り返り、検査相談、社会保障について」
日本におけるエイズ対策の推移を世界の動きと比較検討しながら、今後、どのような方向を目指していけばよいかを皆さんと検討していきたいと思ひます。
エイズの予防ケア対策の一つのキーとなる検査相談の取り組みの経緯を具体的に見ていきます。
また、HIV 陽性者の生活基盤を支える社会保障についても、その取り組みの実際や課題を検討していきます。
- ◆ 分科会：予防ケアの具体的な取り組みについて、幾つかの話題を中心に、担当者から活動の報告や問題提議を行ない、受講生は担当者との質疑応答などを通し分科会の話題について理解を深めていきます。

6. 分科会について：各分科会の説明と選択方法

<分科会の項目>

グループ	《午 前》	《午 後》
Aグループ 【若者・女性へのアプローチ】	① 女性の課題とアプローチ 性被害からみたエイズの課題 女性陽性者を取巻く課題	② 若者の課題とアプローチ 暴力やライフスキルの取組みから エイズの予防啓発活動への発展を 考える
Bグループ 【コミュニティの取組み】	① 薬物とエイズ コミュニティでの取組みと HIV 診療から見えてくる予防ケアの 課題	② ゲイ男性を取巻く課題 都市部と地方都市における 課題とその取組み
Cグループ 【ケア・サポート】	① 中高年、高齢者の課題 HIV 診療の場での中高年、高齢者 の実情 訪問看護ステーションの取組み	② HIV 陽性者の就労 雇用側の意識とその変遷 仕事に対する陽性者自身の長期に わたる取組み

<各分科会で取り上げる内容>

Aグループ 【若者・女性へのアプローチ】

A-① 女性の課題とアプローチ

- ・性被害を経験した女性への支援を通し、性被害と HIV の関連についての支援のあり方の検討
- ・女性 HIV 感染者のケアを行う医療従事者から見た女性と HIV の課題の検討

A-② 若者の課題とアプローチ

- ・10代の若者を対象とした活動（若者主体）の紹介
- ・若者へのライフスキルの教育を通し、今後のエイズの予防啓発のあり方を検討

Bグループ 【コミュニティの取り組み】

B-① 薬物とエイズ

- ・コミュニティにおける支援活動を通し、エイズと薬物の課題を検討
- ・診療の現場での経験を通したエイズと薬物の予防ケアの検討

B-② ゲイ男性を取巻く課題とその取り組み

- ・都市部でのゲイ男性へのエイズの積極的な普及啓発活動の実際と今後
- ・地方都市におけるゲイ男性へのエイズをテーマとした普及啓発のアプローチの検討

Cグループ 【ケア・サポート】

C-① 中高年・高齢者の課題；介護支援の現状と課題

- ・医療の場から見えてくる中高年や高齢者を取巻くエイズの問題について検討
- ・地域に根ざした訪問看護ステーションで取り組んだ事例を中心に、介護支援の可能性を検討

C-② HIV陽性者の就労

- ・雇用側の企業の HIV 陽性者の受け入れに関する3年間の意識調査や企業を対象としたワークショップの経験を通し、HIV 陽性者の雇用の実状と課題の検討
- ・HIV 陽性者が長期に渡る仕事や病気との付き合いを日々どのように工夫し、また取り組んでいるかというテーマの検討

<分科会の選択について>

A～Cグループ分科会から、午前、午後それぞれに第一希望、第二希望を選択する。

その希望について、申請書に、第一希望は（1）、第二希望は（2）と記入する。

（注）

午前と午後、別々のグループから選択できます。例えば、午前中は、A-①、午後はB-②など。

※人数調整のためご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承下さい

7. 募集対象：現在、HIV の予防・啓発教育や予防介入や、HIV 陽性者の医療や地域支援に関わっている・あるいは関わり始める予定の行政担当者、クリニックや医療機関の関係者、心理福祉介護職、教育関係者や HIV 活動に関わっている学生、企業の担当者や衛生管理者、NGO、国際協力の関係者、マスコミ・出版関係者等

8. 募集人員：約100名（先着順：人数になり次第締め切らせていただきます。一関連団体からの参加人数について検討を加える場合があります。）

9. 主な講師：HIV 感染症の予防介入活動や医療、支援に関わる実践者・専門家等

10. 申込み方法：

- (1) 申込みは別紙「申込書」に参加者氏名等必要事項を記入の上、直接、エイズ予防財団に提出してください。
- (2) 宿泊はこちらで用意いたしません。各自手配願います。
- (3) 昼食の準備はありません。研修施設周辺にて、各自でお取りください。

11. 募集締切日：**平成22年6月4日(金) 必着**

※申し込みは、郵送、またはファックスでお願いします。

12. 受講者決定通知：選考の結果については、受講決定者に**平成22年6月中旬**までに郵送で、詳細なプログラムと共に通知致します。研修生決定後の研修生変更は原則として認めません。

13. 参加経費：一人あたりの参加経費は次のとおりです。

受講料	・・・	無 料
資料代（消費税込） 一般	・・・	¥5,000
NGO/NPO・学生	・・・	¥3,000
情報交換会	・・・	¥1,500（希望者のみ。立食形式）

※参加費の支払い方法については、受講決定通知とともに事務連絡をお送りします。

14. 問合せおよび申込書送付先：

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12
財団法人エイズ予防財団 「エイズ予防ケア入門編」研修 係
担当：矢永・池田
電 話 03-5259-1811
FAX 03-5259-1812

(参考) エイズ予防財団ホームページ

①<http://www.jfap.or.jp/>

②<http://api-net.jfap.or.jp/>

③<http://api-net.jfap.or.jp/i/>（携帯電話用）